

1、今年度の推進会議での審議内容について

答申



答申を受けて、「持続可能な地域活動」「柔軟で透明性のある交付金」をめざす施策を進めていく

4つの視点

視点①
コミュニティの
運営
「活動の振り返りと効果検証」

視点②
コミュニティ活動への参加
「有償活動の整理」

視点③
コミュニティ活動への参加
「誰でも参加できる活動」

視点④
コミュニティ・交付金の周知
「誰でも知っている活動」

令和8年度 市＋コミュニティ

市が、コミュニティ組織が活動を振り返りや、住民が参加しやすくなる仕掛け等のヒントを記載したガイドブックをコミュニティ組織と対話をおこないながら作成



推進会議

ガイドブックに推進会議としての提案や意見を掲載する
(掲載方法は未確定)

2、審議のテーマについて

コミュニティ活動が、日頃から選択肢のひとつとして浸透し、
根付いていく周知、情報発信について

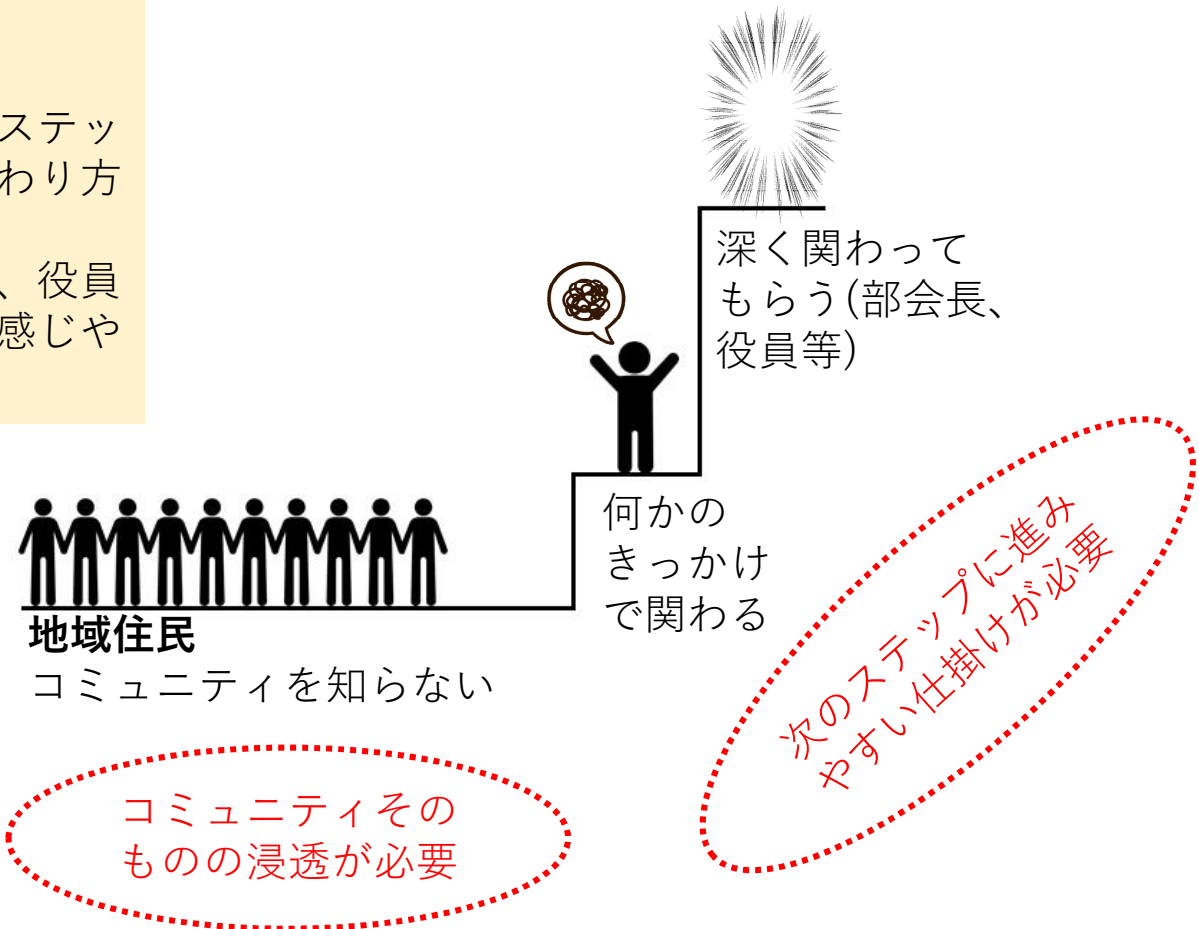
令和8年度参画と協働のまちづくり推進会議について

3、審議テーマのイメージ

コミュニティ活動が、日頃から選択肢のひとつとして浸透し、根付いていく周知、情報発信について

今のコミュニティ組織が陥りがちな状況

- ・ コミュニティの活動が知られていない
(理解できていない)
- ・ 何かのきっかけで関わった人が、次のステップに踏み出すハードルが高い (参加や関わり方が限られている)
- ・ 担い手不足の解消に繋げたい思いから、役員の任命など、新たに関わった方が負担を感じやすい状況(強制感)が生じている。



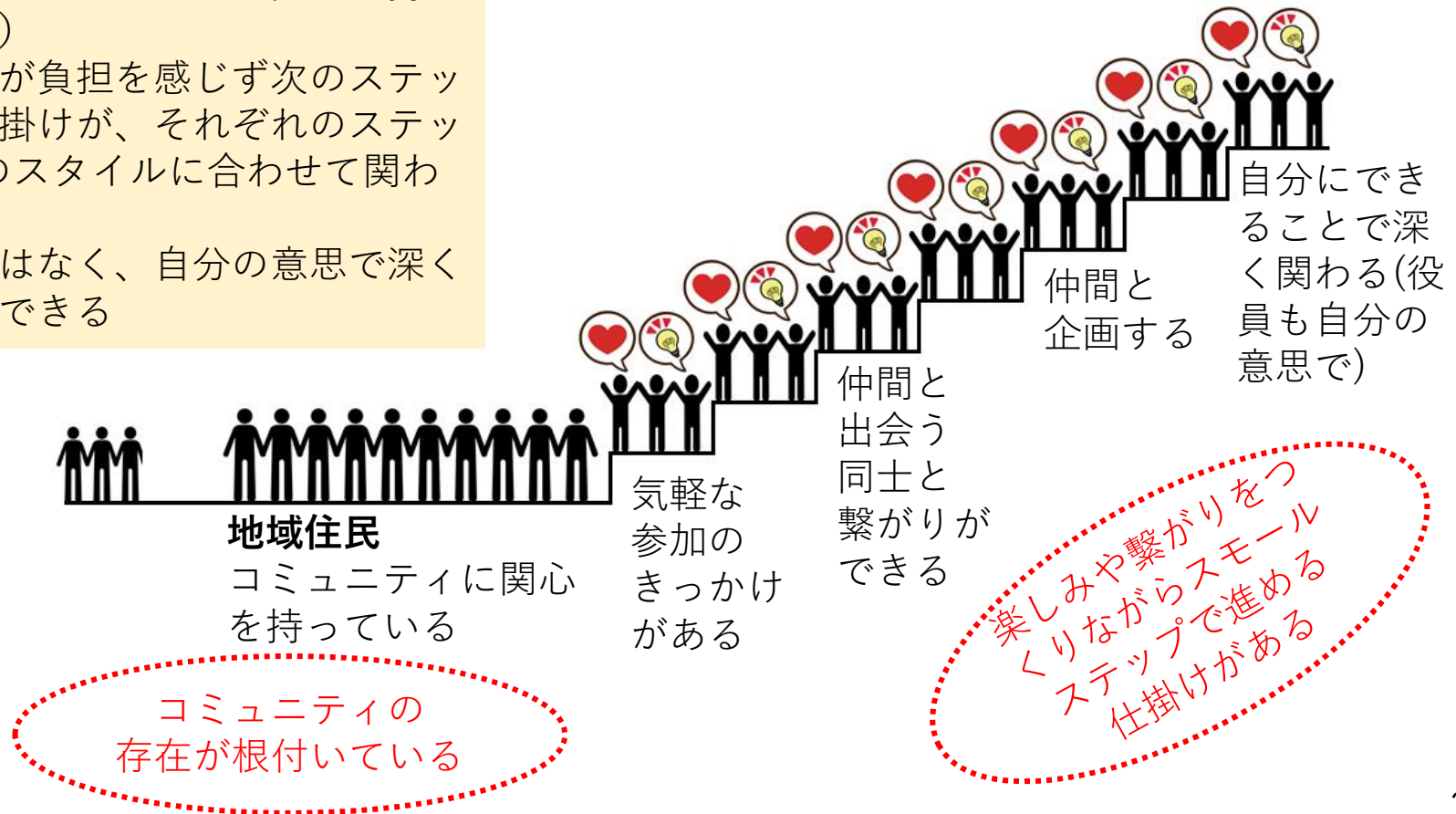
令和8年度参画と協働のまちづくり推進会議について

3、審議テーマのイメージ

コミュニティ活動が、日頃から選択肢のひとつとして浸透し、根付いていく周知、情報発信について

理想とするコミュニティ組織

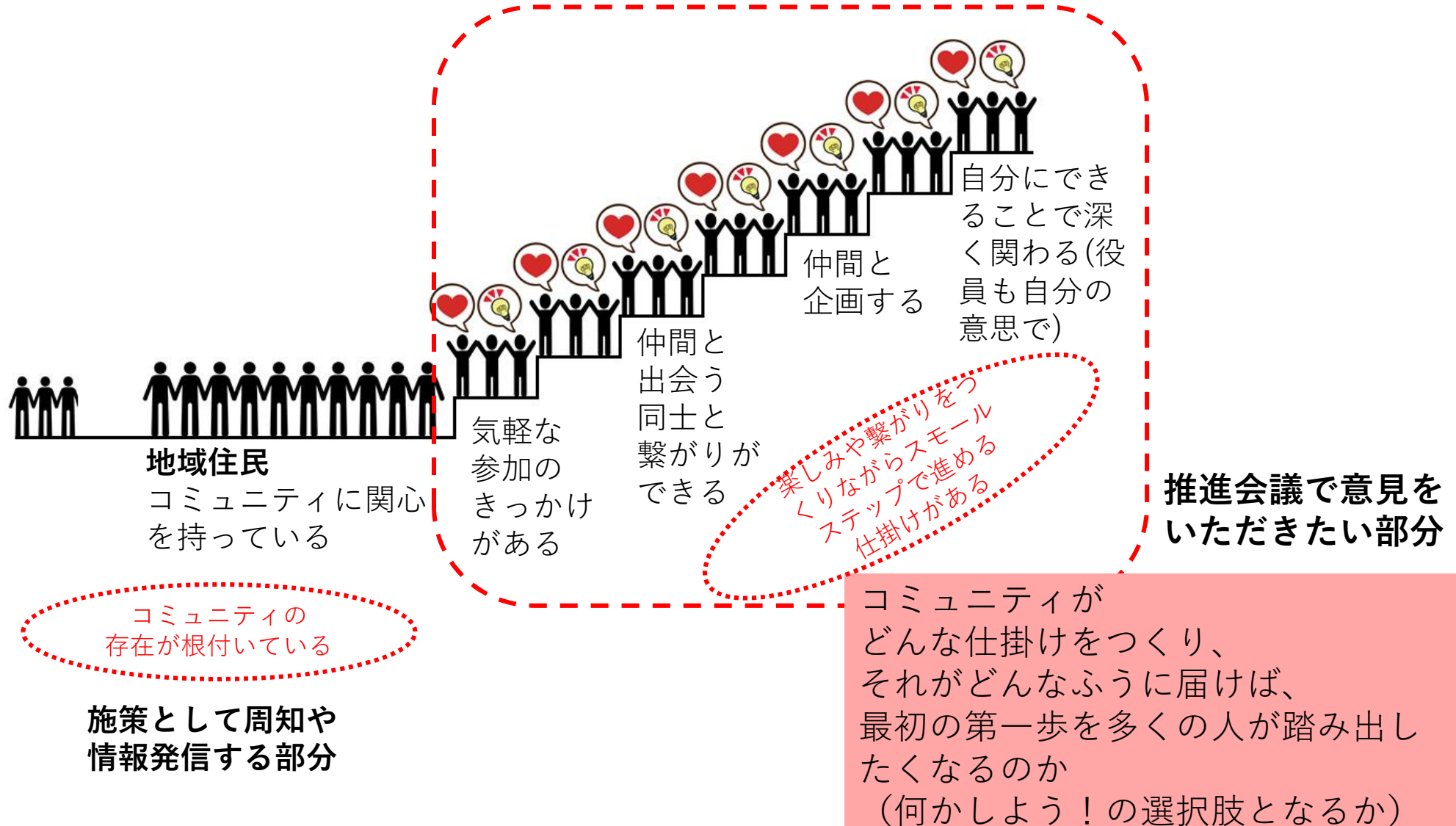
- ・地域住民の多くがコミュニティに関心を持っている（知っている）
- ・気軽に参加した人が負担を感じず次のステップに進みたくなる仕掛けが、それぞれのステップに複数ある(自分のスタイルに合わせて関わり方を選択できる)
- ・押し付けや強要ではなく、自分の意思で深く関わっていくことができる



令和8年度参画と協働のまちづくり推進会議について

3、審議テーマのイメージ

コミュニティ活動が、日頃から選択肢のひとつとして浸透し、根付いていく周知、情報発信について



令和8年度参画と協働のまちづくり推進会議について

4、審議内容の反映と開催スケジュールについて

推進会議 開催スケジュール

- 本日
- 委嘱、審議内容の説明、テーマに繋がる意見交換
- 10月
- 第1回会議の意見内容の振り返りとテーマのを深掘りして意見交換
- 12月
- 第2回会議の集約、整理及びガイドブックへの反映について
- 2月
- 審議内容を反映したガイドブック第1版の共有と参画と協働の取組み状況進捗の共有
- ※会議以外にも任意で参加いただけるようなワークショップ等も検討中

全体スケジュール												
令和8年度												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
市とコミュニティ	preキックオフ (方向性の共有)		キックオフ (意識共有)	ステップ① (対話による素案等の形成)			ステップ② (試行活用と改良によるブラッシュアップ)			ステップ③ (本格活用に向けた支援と目標設定)		
				提言を受けた4つの視点毎に、めざす姿の実現に向けた施策をコミュニティとの対話により進めます								
	4/15 コミ連絡会	5/20 コミ連絡会	6月中旬 岩崎前会長によるセミナー		8/19 コミ連絡会	9/16 コミ連絡会		11/18 コミ連絡会		1/8 コミ連絡会		3/17 コミ連絡会
推進会議				第1回 推進会議			第2回 推進会議		第3回 推進会議		第4回 推進会議	